

推進員向け「小中学生向け講座づくり」研修会開催

7月14日、長野県センターは、地球温暖化防止活動推進員を対象に、講師養成研修会「小中学生向け講座づくり」を、伊那市のかんてんぱぱ・くぬぎの杜で開き、脱炭素社会を担う子どもに向けた教育について理解を深めました。

講義とワークショップ（写真）の二部構成の研修会には、推進員15人から申込みがあり、9人が会場参加しました。

講義では、長野県教育委員会事務局学びの改革支援課 指導主事の宮下卓也氏が、現場教師の実情も交え、小中学校学習指導要領における「環境」に関する教育について解説。広範囲で多面的、総合的な内容を含んでいる環境教育を、地域と連携を図りながら充実させるには、「外部講師と教師の事前の打ち合わせで、指導のねらいや子



どもの実態、役割分担などの共通認識を図っておくことが必要」と語りました。

続いて、松本市や団体等と協働して、体験を通じた環境教育を進める「中信地区環境教育ネットワーク」事務局長の中林直子氏が、「学校が求

める環境学習講師」をテーマに講義。学校が外部講師に期待することとして、地域を知る学習や、教師が持っていない専門知識・技能、楽しい体験、学習指導要領の学習

計画のなかで生かせる体験などを挙げ、子どもたちを楽しませながら環境の視点を入れていくことが大事ではないかと強調しました。

今後、推進員は年内を目途に、地域やテーマごとに、学校や地域での講座づくりを進めることとしています。



エネルギー転換

エネルギー管理士 島川 清一 [上田市]



長野県ゼロカーボン戦略では、温室効果ガス正味排出量をまず 2030 年度に 60%削減（2010 年度比）が目標です。あと 8 年でどうやって減らすのか？

一つの方法は化石燃料の燃焼による CO₂ 排出量を減らすことです。

長野県環境保全研究所研究報告（2011 年）によると、長野県は暖房のため、家庭における灯油からの CO₂ 排出量（1 人あたり）が全国平均より 3 倍以上多かったそうです。これを減らすには CO₂ 排出量の少ないエネルギーへの転換が必要です。

灯油暖房機は壊れ難く長く使われるものですが、エコを意識し、暖房器具を見直す必要があります。お勧めはヒートポンプを使ったエアコンで、エネルギー効率が上がります。

温室効果ガス排出量をあと 8 年で 60%削減しなければならない状況は、言葉は悪いですが、会社などにおいてケツが決まっています。新しい技術や製品を生み出さなければならない状況と似ている感じがしています。締切が迫っているときは最初から完璧を求めず、案が出たら先ずやってみて、途中で見直ししながら進んで行く——という手段も取られます。その方が結果的には早く目標に到達できるようです。

家庭のCO₂排出量全国データとの比較

	全国		長野県	
	国立環境研究所による全国推計値 ⁶⁾ (1人あたり) 2008 年度		本研究のアンケートによる推計値 (1人あたり)	
電力	877	(45%)	873	(35%)
都市ガス	167	(8%)	74	(3%)
LPG (プロパンガス)	100	(5%)	118	(5%)
灯油	195	(10%)	617	(25%)
ガソリン	599	(31%)	792	(32%)
軽油	26	(1%)		
小 計	1,964	(100%)	2,473	(100%)

長野県は灯油によるCO₂排出量が
全国平均の3倍以上多い

* 出典 長野県環境保全研究所研究報告第 7 号 (2011)
「家庭のエネルギー消費量と CO₂ 排出量」
—長野県内 10 市町でのアンケートから—

地球温暖化防止活動推進センター通信

レポート① 親子環境バスツアー「温暖化ってなあに？」

7月30日(土)、長野市地球温暖化防止活動推進センター主催で、自然観察会・地球温暖化防止学習会を開催、10組の親子のみなさん(小学生17名、大人10名)が参加されました。当日は朝から気温も上がり熱中症も心配されましたが、時間に余裕を取り、給水などに気をつけて、元気に参加していただくことができました。見学場所の「いいづなお山の発電所」では、山の木材を使って山を育てながら発電すること、その電気が長野市内の施設で使われているお話を伺い、発電施設の見学をさせていただきました。「戸隠森林植物園」では小雨模様の天候ということで、「八十二森のまなびや」で昼食をとって施設見学をし、その後、植物園内で自然観察を実施しました。時折雨のちらつく空模様でしたが、大きく荒れることもなく楽しい時間となりました。



レポート② ゼロカーボンさみっと 2022

ゼロカーボン長野プログラムの一環として「ゼロカーボンさみっと 2022」が7月29日(金)から31日(日)まで、松岡のサンマリーンながの内長野市リサイクルプラザで開催されました。新型コロナの蔓延を受け、パネル展示による発表が多いなか、長野市地球温暖化防止活動推進センターは、感染防止策をとりながら、デジタル地球儀「スフィア」の展示や、スマートハウス化応援隊の紹介、エコドライブシミュレーターによるエコドライブ講習会(写真)などを実施しました。多目的ホールでは主催者のCO₂バンク推進機構によるゼロカーボンクラフト教室も開催され、親子がソーラーカー作りに熱心に取り組んでいました。気温は35℃を超え、新型コロナ感染者も記録的な数で、来場者数はもう一つでしたが、長野プログラム的一端をご理解いただけたと思います。



— 長野県からのお知らせです —

対象店舗で省エネ性能の高い家電製品(エアコン、電気冷蔵庫、電気温水機器)を購入した県民の皆様へ、購入品目等に応じたキャッシュレスポイントをプレゼント

〔購入対象期間&申請受付期間〕

2023.2.14 まで

くわしくは WEB で！



参加事業所募集中！

体を動かす
きっかけづくり
にも

しん
信スマ



ノーマイカー

エコドライブ

2050 ゼロカーボンの実現に向けてCO₂の排出を抑えた地球にやさしい通勤を



長野県 PR キャラクター
「アルクマ」
© 長野県アルクマ



〔実施期間〕 2022.9.17(土)-30(金)